I·O DATA

USB接続30万画素
ビデオチャット用カメラ

USB-CAM30MS セットアップガイド

M-MANU150974-02

本製品のインストールおよび使い方について説明します。Macintoshをお使いの場合は、本書裏面の【Macintoshをお使いの場合】をご覧ください。
本書では基本的な操作について説明しています。
詳しい説明はオンラインマニュアルをご覧ください。

Windows XP/2000/Me/98 SEをお使いの場合

本書では、Windows 98 Second Editionは98 SEと表記します。Macintoshをご利用の場合は、裏面をご覧ください。

1 インストールする

本製品を使用するためにはドライバをインストールする必要があります。以下の手順でインストールを行ってください。

❶パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。
Windows XP/2000をお使いの場合は、コンピュータの管理者(Administrators)アカウントでログオンしてください。

注意 以下の作業は、USBポートに本製品を接続する前に行ってください。

❷添付のUSB-CAM30Mシリーズサポートソフトを CD-ROMドライブにセットします。

❸「オートランメニュー」が表示されます。
※自動で表示されなかった場合は、添付のCD-ROM内のSetup.exeをダブルクリックしてください。

※Adobe Readerがインストールされている必要があります。

■DirectX 9.0について
本製品を使うには、DirectX 8.0以降が必要です。
※DirectXについては、マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

❹[ドライバのインストール]をクリックします。

❺[次へ]ボタンをクリックします。以降、画面の指示に従い[次へ]ボタン➡[インストール]ボタンをクリックします。

❻[完了]ボタンをクリックします。

インストール作業は完了しました。

❼本製品をパソコンのUSBポートに差し込みます。

この後、Windows XP/2000の場合、「追加作業」へ進む

Windows Me/98 SEの場合、**2**へ進む

2 インストール終了後の確認をする

インストールが終了したら、パソコンが本製品を正しく認識するかどうかの確認を行います。

❶デバイスマネージャを起動します。

■Windows XPの場合
[スタート]➡[マイコンピュータ]を右クリック➡[プロパティ]➡[ハードウェア]タブ➡[デバイスマネージャ]ボタンを順にクリックします。

■Windows 2000の場合
[マイコンピュータ]を右クリック➡[プロパティ]➡[ハードウェア]タブ➡[デバイスマネージャ]ボタンを順にクリックします。

■Windows Me/98 SEの場合
[マイコンピュータ]を右クリック➡[プロパティ]➡[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]にチェックします。

❷確認します。
①[イメージングデバイス]の左にある[+]をクリックします。
➡その下が表示されます。
②[USB-CAM30M Series]があることを確認します。
これが、本製品のドライバです。

❸「デバイスマネージャ」を閉じます。
画面右上にある[×]をクリックします。

表示されていない場合は、本製品が正しくUSBポートに差し込まれているか再度ご確認ください。また、他のUSBポートに接続してみてください。

3 使い方について

本製品を使用する場合の基本的な使い方を説明します。

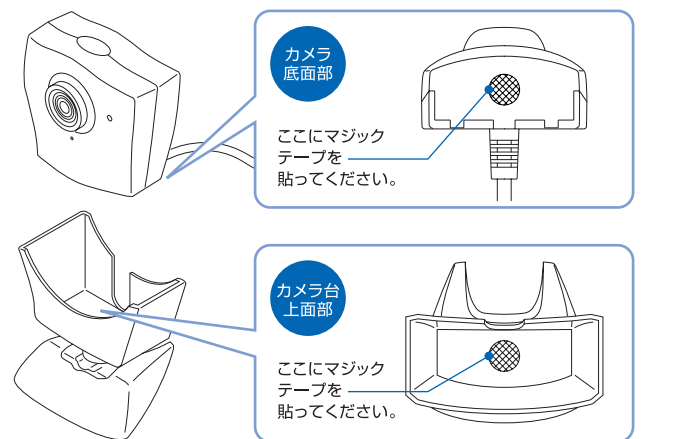
本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

注意
●サウンドボリュームを上げすぎない
サウンドボリュームが大きすぎると、耳を痛めるおそれがあります。お使いの環境に合わせて、最適なボリュームに設定してください。
●USBポート、ヘッドホン端子、マイク端子の場所について
パソコンまたはサウンドカードによって異なります。詳しくは、パソコンまたはサウンドカードの取扱説明書をご覧ください。

●接続する　下の図のように接続します。

●音声の出力について
ヘッドセットを接続している間、音声はイヤホンに出力され、パソコン本体のスピーカーからは出ません。
パソコンのスピーカーから音声を聞きたい場合は、ヘッドホン端子は接続しないでください。

●カメラを台に固定する
ノートパソコンなどでクリップ台をご使用になる際などでは、カメラがカメラ台から外れたり、落ちたりしないようにするために、貼付のマジックテープをお使いください。
(カメラとカメラ台の両方に貼り付けてご使用ください。)

●ノートパソコンに取り付ける場合　下の図のように接続します。

注意 クリップを液晶パネルにはさまないでください。
クリップを液晶パネルに直接はさむと液晶パネルの破損をまねく恐れがあります。取り付け場所には注意してください。

4 ビデオチャット(テレビ電話)について

ビデオチャット(テレビ電話)について説明します。

「IP電話」、「IPフォン」、「インターネット電話」など「ビデオチャット」、「テレビ電話」とよく似た言葉が使われていますが、広い意味ではすべて「IP網を使った通話」のことを表します。しかし、BBフォンなどの普通の電話機で通話ができるものと、パソコンを使って通話をするものでは使い方が異なります。パソコンでは音声だけではなく、映像を使用することもできることから、「テレビ電話」、「ビデオチャット」と言われています。

●ビデオチャット(テレビ電話)に必要なもの

カメラ、マイク、スピーカー(イヤホンマイク)とパソコン。そしてインターネット。これさえあれば、後はWindows messengerなどを使ってビデオチャットが楽しむことができます。
また、ADSLなどの常時接続型のブロードバンドサービスなどを利用すれば、電話代を気にすることもありません。

●ビデオチャット(テレビ電話・会議)サービスについて

無料と有料のサービスがあります。
とりあえず始めてみるのであれば無料のサービスがお勧めです。
ただし、テレビ会議など機密性を必要とされる場合は、セキュリティ面を考え有料のサービスを利用することをお勧めします。

※無料サービスのご利用はお客様ご自身の責任でお願いいたします。
※USB-CAM30MS動作確認済みのビデオチャットサービスについては、弊社ホームページにてご確認ください。

●ビデオチャットサービスについて
ビデオチャットサービスの設定や使い方についてのお問い合わせは、弊社ではお受けできません。各サービスの提供元にお問い合わせください。

ビデオチャットを楽しむ

本製品をパソコンに接続することにより、Windows Messenger、MSN Messenger、Yahoo!メッセンジャー、NetMeetingなどを使ったビデオチャットを楽しむことができます。

●Windows Messengerについて

Windows XPに標準に添付されているビデオチャット機能搭載のインスタントメッセージングソフトです。
Windows Messengerでビデオチャットをするには以下の条件を満たさなくてはなりません。
■双方が使用しているOSがWindows XPであること。
■双方がWindows Messengerを使用すること
(片方がMSN Messengerは不可)。
■双方のパソコンにカメラが接続されていること。
■ルーターをご使用の場合、ルーターが「ユニバーサルプラグアンドプレイ」に対応していること。
(対応については、各ルーターのメーカーにお問い合わせください。)

●MSN Messengerについて

MSNが提供しているソフトウェアです。MSNのホームページから無料でダウンロードすることで使用できます。最新のバージョン6では、WebCam機能が追加され、NetMeetingを起動しなくても手軽にビデオチャットが楽しめるようになりました。チャット画面のデザインが変更できたり、対戦型のゲームができたりと、多くの機能が搭載されいろんな楽しみ方ができます。
Windows Messengerとの間では、文字(テキスト)チャットはできますが、ビデオチャットは使用できません。
Windows XPを使用している相手とビデオチャットをするためには、Windows XP側にもMSN Messenger6をインストールしMSN Messenger6同士でご利用ください。

●Yahoo!メッセンジャーについて

Yahoo!メッセンジャーは、Yahoo!が提供しているインスタントメッセンジャーサービスです。
テキスト(文字)チャット機能だけではなく、音声チャット、ビデオチャット、さらには、オークション、株価、カレンダーなどをお知らせするアラート機能を搭載。さらに、IMテーマを変えると、文字チャット画面のデザインが一瞬に変更されるなど、ユニークな機能が数多く搭載されています。
また、Yahoo!掲示板では、メッセージを書き込んだ人の名前の横に、メッセンジャーのアイコンが表示され、オンラインであればその人とメッセージ交換が直接できるなど、Webサイトと連携したサービスが提供されているのが特徴です。
さらに、導入や設定が比較的簡単な事から初心者でも手軽に始めることができます。

●NetMeetingについて

Windows 2000/Me/98 SE/98に標準で添付されているテレビ電話ソフトです。
※ルーターをお使いの場合はルーターが「NetMeeting」に対応していることが必要です。
対応については、各ルーターのメーカーにお問い合わせください。

●ユニバーサルプラグアンドプレイ(Universal Plug and Play:UPnP)

ネットワークに接続されたデバイスのPlug and Playを行なう技術です。Windows XPからは、対応ルーターから情報を取得したり、必要に応じてルーターの設定を変更したりといったことが可能になります。
それにより、メッセージングソフトやネットワークゲームを使用する際に、アプリケーションが自動的にルーターをセットアップするといったことが実現できます。

●ビデオチャットソフトの操作説明について
ここでは、MSN Messenger、Yahoo!メッセンジャーで映像を扱うための設定についてのみ説明します。なお、弊社ではこれらのソフトウェアに関するサポートは行っておりません。
詳しい操作方法については、それぞれのヘルプをご覧いただくか、各ソフトメーカーにお問い合わせください。

●ビデオチャットソフトで正常に動作しない場合は?
各ビデオチャットソフトで動作に異常が生じる場合、まずは本書【5.動画や静止画を撮影する】における本製品の動作をご確認ください。正常に動作する場合については、ビデオチャットソフト側の設定に起因する事が考えられます。各ソフトメーカーにお問い合わせください。

裏へ続く

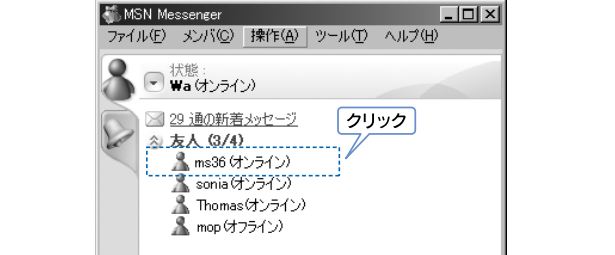
MSN Messenger6を使う

❶MSN Messengerを起動します。
MSN Messengerでメッセージを送ることができる状態にしておいてください。
※MSN Messengerがインストールされていない場合は、MSNのサイト（http://messenger.msn.co.jp）からダウンロードしてください。また、NET Passportを取得していない場合は取得してください。

❷カメラ、イヤホンマイクを接続します。

❸「オーディオとビデオのチューニングウィザード」を起動します。
［ツール］➡［オーディオとビデオのチューニングウィザード］の順にクリックします。
➡「オーディオとビデオのチューニングウィザード」が起動します。

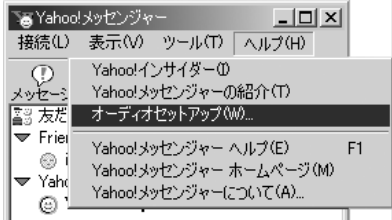
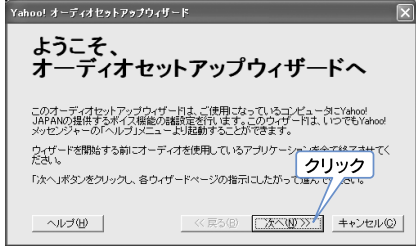
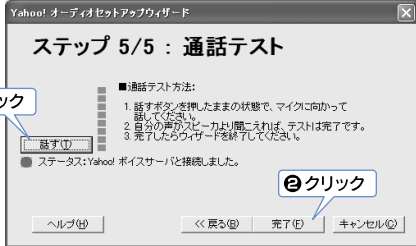
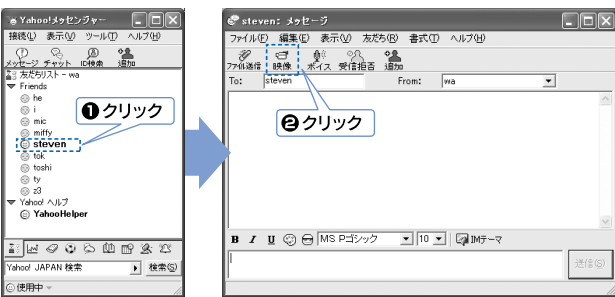
❹操作手順はオンラインマニュアル【Windows Messengerを使う】の手順4～10を参照してください。

❺MSN Messengerの最初の画面でビデオチャットをする相手をクリックします。

❻文字チャット画面が表示されたら相手に文字でメッセージを送って、ビデオチャットに誘ってから、[Webcam]アイコンをクリックします。
➡ 相手の映像が右上に表示されます。

Yahoo!メッセンジャーを使う

❶Yahoo!メッセンジャーを起動します。
Yahoo!メッセンジャーでメッセージを送ることができる状態にしておいてください。
※Yahoo!メッセンジャーはYahoo!JAPAN（http://www.yahoo.co.jp/）からダウンロードしてください。また、Yahoo!メッセンジャーを利用するにはYahoo!JAPAN IDが必要です。

❷カメラ、イヤホンマイクを接続します。

❸「オーディオセットアップウイザード」を起動します。
［ヘルプ］➡［オーディオセットアップ］の順に起動します。
➡［オーディオとビデオのチューニングウィザード］が起動します。

❹［次へ］ボタンをクリックします。
以降は画面の指示に従って進めてください。

❺右の画面が表示されたら、［話す］ボタンを押して通話テストをします。終了したら［完了］ボタンをクリックします。
これで、準備は完了です。
ビデオチャットを始めてみましょう。

❻Yahoo!メッセンジャーでオンラインになっている友達のアイコンをクリックし、文字でメッセージを送って相手がパソコンの前にいることを確認し、［映像］ボタンをクリックします。

❼映像が映っていて、ステータスバーに「公開中」と表示されていればスタンバイOKです。
映像を見せたいお友達のアイコンで右クリックし、［自分の映像を見せる］をクリックすると相手には［映像を見ますか？］という確認メッセージが表示されます。
相手が［見る］を選択すると、ステータスバーに1人がアクセス中と表示されます。

❽ビデオの設定をします。
「自分の映像」画面でビデオの設定をすることができます。
［ファイル］➡［ビデオの設定］の順にクリックします。

5 動画や静止画を撮影する

本製品で、動画または静止画を撮影する手順を説明します。

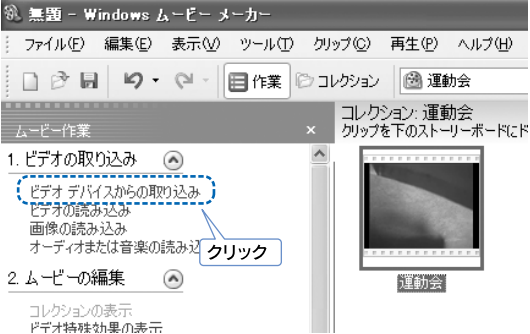
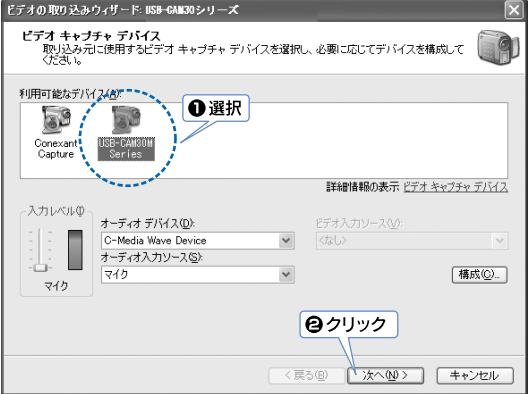
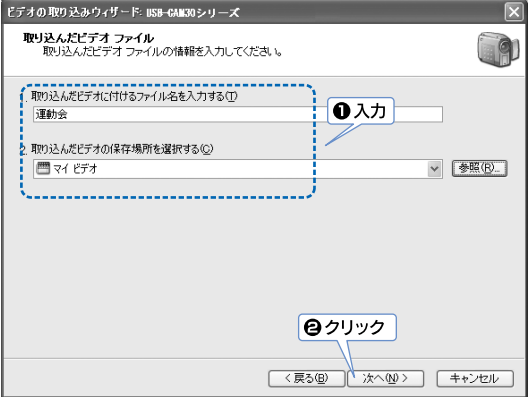
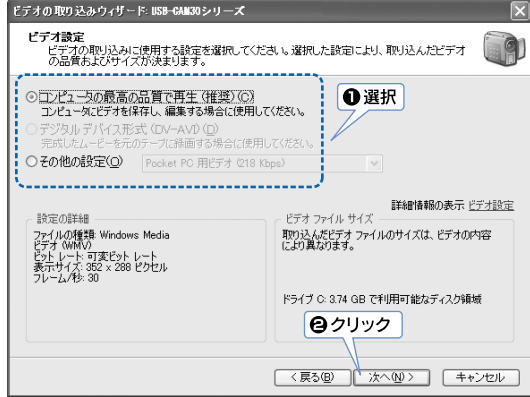
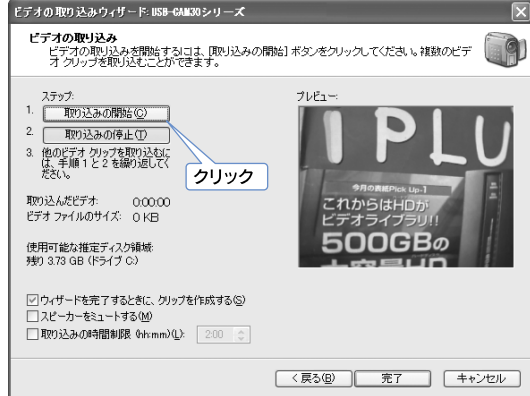
動画を撮る

本製品のカメラで動画を撮る方法について説明します。
本製品には、動画キャプチャソフトとして［I-O DATA CAMCAP］を同梱しておりますが、ここでは、Windows XPに標準で添付されている「Windowsムービーメーカー（Version2）」を使って動画を撮る方法について説明します。

> **[I-O DATA CAMCAP]について**
> 使用方法については、［I-O DATA CAMCAPヘルプ］をご参照ください。

❶カメラを接続します。

❷「Windowsムービーメーカー」を起動します。
［スタート］➡［プログラム］➡［アクセサリ］➡［Windowsムービーメーカー］の順にクリックします。

❸「ビデオデバイスからの取り込み」を選択します。

❹［利用可能なデバイス］からUSB-CAM30M Seriesを選択します。

❺ファイル名と保存場所を入力します。

❻ビデオの取り込みに使用する設定を選択します。

❼ビデオを取り込みます。

❽録画を終えるときは、［取り込みの中止］ボタンをクリックします。
➡ 録画が終わります。

❾完了ボタンをクリックすると、最初の画面に戻ります。
➡プレビュー画面で確認できます。

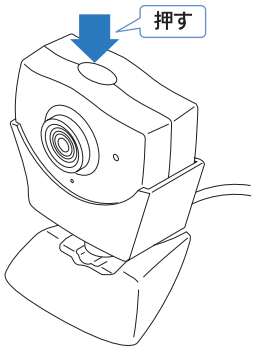
> **撮った動画の再生について**
> Windowsに添付されている、Windowsメディアプレーヤーなどをお使いください。

静止画を撮る

「I-O DATA CAMCAP」起動時にカメラ本体上部のスナップショットボタンに連動する「SnapShot Viewer」を利用する事で静止画を簡単にビットマップ形式で保存することができます。

❶カメラを接続します。

❷［I-O DATA CAMCAP］を起動します。
［スタート］➡［（すべての）プログラム］➡［I-O DATA］➡［USB-CAM30M Series］➡［I-O DATA CAMCAP］

❸カメラ本体上部の「スナップショットボタン」を押します。
➡ 静止画が撮られ、「SnapShot Viewer」が起動します。

❹［ファイル］➡［名前を付けて保存］の順にクリックし、画像を保存します。

> **参考**
> 「SnapShot Viewer」では、携帯電話など縦長の画面で写真を全体に表示させるために、撮影した画像を簡単に90度回転する事ができます。
> ①「SnapShot Viewer」の[回転]をクリックし、回転する方向を選びます。
> ➡ 画像が回転します。
> ※保存できる画像フォーマットはBMP（ビットマップ）とJPEG（ジェイペグ）です。メールなどで携帯電話に送信する場合は、ペイントなどのフォトレタッチソフトを使って、お使いの携帯電話の画像フォーマットに変換する必要があります。

Macintoshをお使いの場合

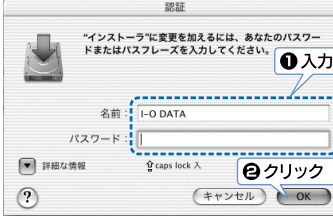
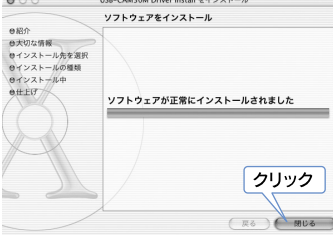
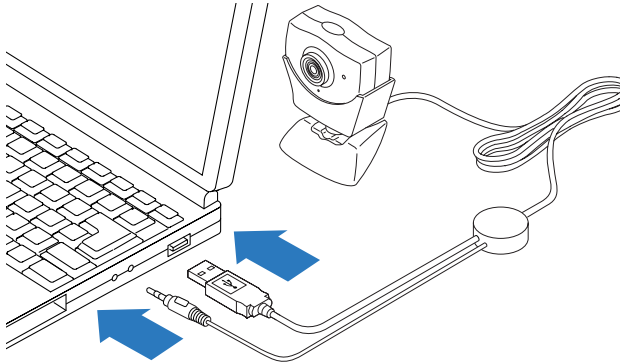
1 インストールする

本製品を使うためのソフトウェアを、インストールします。
ここではまだ本製品をパソコンに接続しないでください。

❶USB-CAM30MシリーズサポートソフトをCD-ROMドライブに入れます。

❷［MAC-OSX］フォルダ内の［USB-CAM30M Driver install.pkg］をダブルクリックします。

USB-CAM30M Driver Install.pkg

❸認証画面が表示されたら、インストール権限のあるユーザーの名前とパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。

❹以降は画面の指示に従って進めます。
右の画面では［閉じる］ボタンをクリックします。

❺本製品をパソコンのUSBポートに接続します。

❻デスクトップの［WebCam Monitor］をダブルクリックします。

WebCam Monitor

❼画像が表示されれば、インストールは完了です。
※［WebCam Monitor］の使い方や画像の調整などについてはオンラインマニュアル（PDF）をご覧ください。